

### 請求の範囲

- [請求項1] 気体を発生させる液体を内部に貯蔵する柱状のボトルであって、  
内部に前記液体を貯蔵する胴体部と、  
前記胴体部の上面に設けられ、外部に開口する注ぎ口と、  
前記注ぎ口を開閉可能に覆う蓋と、  
前記注ぎ口の開口部と前記蓋との間に取り付けられ、液体を通過させず気体を通過させるパッキンと、を備え、  
前記胴体部は、上面に前記注ぎ口が設けられた半円柱形状である第1柱部と、前記注ぎ口から相対的に離れるに従って断面積が小さくなる柱形状である第2柱部と、により構成されている、  
ボトル。
- [請求項2] 前記第1柱部は、第1平面を有し、  
前記第2柱部は、第2平面を有し、  
前記第1平面が接地するように前記ボトルが載置された場合、前記第2平面が接地するように前記ボトルが横転することにより、前記注ぎ口の少なくとも一部が定格容量で貯蔵されている前記液体の液面よりも上方に位置するように構成された、  
請求項1に記載のボトル。
- [請求項3] 前記胴体部の上面は、前記胴体部の内部から外部に向かって凸形状となるように形成されている、  
請求項1又は2に記載のボトル。
- [請求項4] 前記第1柱部は、鉛直方向の上方から見て、前記第2柱部から相対的に離れた先端位置において、前記第1柱部における円弧の中心位置が前記ボトルの重心位置より前記先端位置に近い側となるように、前記先端位置における曲率が相対的に大きく形成されている、  
請求項1～3のいずれか一項に記載のボトル。
- [請求項5] 前記第2柱部は、四角柱である、  
請求項1～4のいずれか一項に記載のボトル。

[請求項6]        前記第2柱部は、三角柱である、  
請求項1～4のいずれか一項に記載のボトル。